

第2回WTでの議論のポイント（とりまとめ（案）への反映状況）

【開催日時】

○ 平成22年7月29日（木）13：30 ～ 16：15

【議論のポイント】

1 基本理念

- ・ 環境と経済の両立に加え、雇用創出、福祉、地域経済、地域社会の発展という視点も必要
⇒（一部反映）雇用創出の視点については、経済の活性化のために極めて重要であるが、3つの分野を超えるイメージを持たれてしまう可能性があり、既に書かれている「経済」に内包されていると考えることとする。

2 3つの分野のバランス

- ・ 地球温暖化対策については、ごみ減量に繋がる対策に重点を置くといった扱いにすべきではないか。
⇒（原文どおり）具体的施策例としてとりまとめ案に挙げている「京の打ち水現代版」などの取組は公共性の観点で重要であるが、ごみ減量に繋がるものではなく、必ずしもごみ減量に繋がる地球温暖化対策に重点を置くことが得策であるとはいえない。

3 積立金

- ・ 積立金の仕組みの透明化を図ることが必要。また、有料化財源以外の積立金（寄付金など）もセットで議論してもよいのではないかと。
⇒（前者は反映、後者は原文どおり）後者については、今回の議論が有料化財源の活用方法であることから、有料化財源について整理することとする。有料化財源以外の部分については、別途実施されている市民意見募集の内容も踏まえ、別途検討が必要

4 有料化財源を活用する施策の考え方（重視すべき視点）

- ・ コミュニティビジネスを育てることが重要
⇒（反映）「人づくり・地域づくりへの活用」の中に反映
- ・ 公共性の高い取組への支援を優先することにより、「市民の満足感」を高めていくことが必要
⇒（反映）「有料化財源を活用した取組の見える化」の中に反映
- ・ 中長期的課題の解決に向けた取組への活用が必要
⇒（反映）重視すべき視点の一つとして新たに項目を設けた。

5 有料化財源を活用する施策について

⇒ 議論された具体例を、「有料化財源活用施策として特に有効と考えられる取組」としてとりまとめ案に反映

6 市民への情報発信について

- ・ 市民アンケート結果で回答割合の高かった「市民しんぶん」などの市民に広く配布される広報媒体を活用することが重要であり、有料化財源の活用に関する特集の折込みを行うことや、その際に市民編集コーナーを設けるといった、市民参加型の情報発信も検討されたい。

⇒（反映）

- ・ 有料化財源を活用した取組へのロゴマークを作るなど、有料化財源の認知度を高める工夫が必要

⇒（反映）ロゴマークは既に使用しているが、より認知度を高めることが必要という書きぶりで反映

7 有料化財源のより効果的な活用に向けて

- ・ 有料化財源を活用した施策の説明責任を果たすとともに、施策の進捗状況、成果と効果の検証に基づく見直しなどのプロセスの透明化を図ることも必要。その際には、「市民しんぶん」などの市民に広く配布される広報媒体の折込みを活用すべき。

⇒（反映）